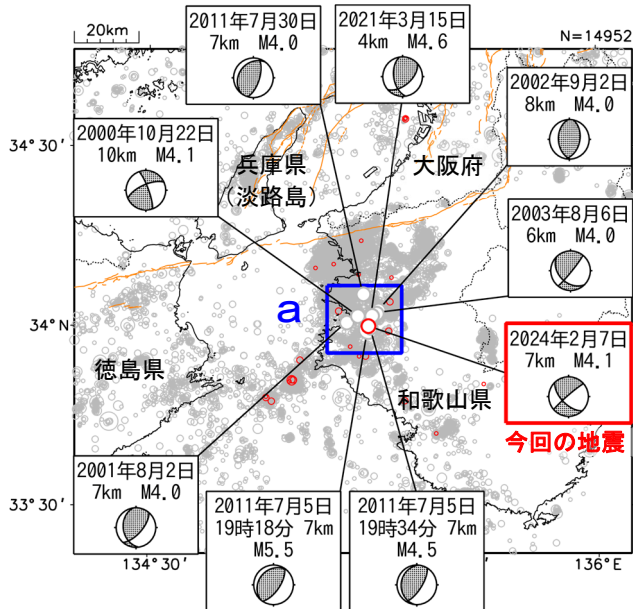


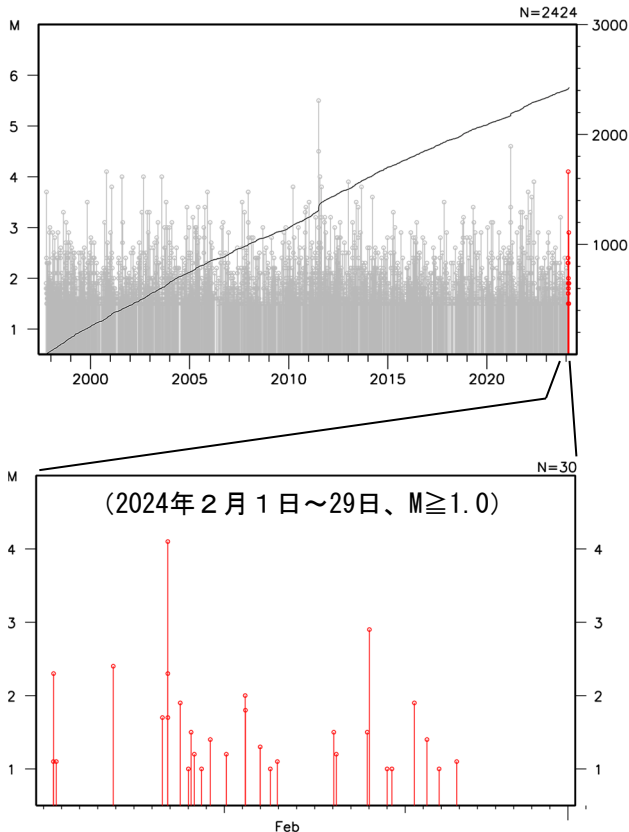
2月7日 和歌山県北部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2024年2月29日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.5$)
2024年2月の地震を赤色で表示



震央分布図中の橙色の実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域a内のM-T図及び回数積算図

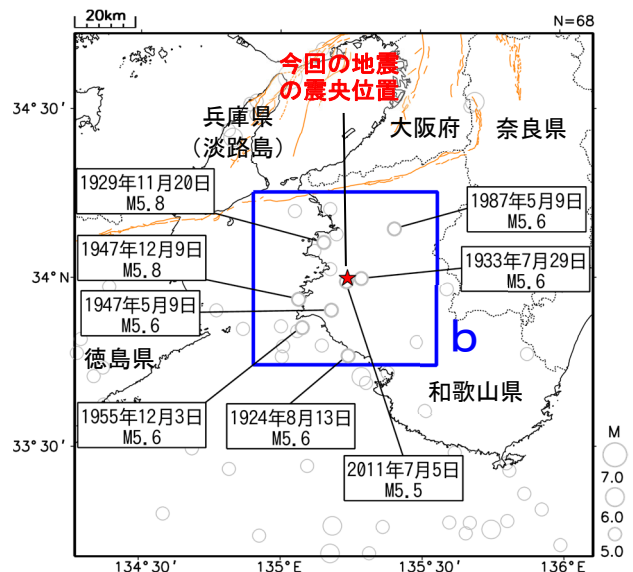


2024年2月7日20時59分に和歌山県北部の深さ7kmで $M4.1$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の発生後、震源近傍では2月19日も $M2.9$ の地震（最大震度2）が発生したものの、月末には活動は落ち着いている。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）は、定常的に地震活動がみられる領域で、 $M4.0$ を超える地震が時々発生している。このうち、2011年7月5日19時18分に発生した $M5.5$ の地震（最大震度5強）では、住家一部破損21棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、 $M5.0$ を超える地震が時々発生しているものの、 $M6.0$ を超える地震は発生していない。

震央分布図
(1919年1月1日～2024年2月29日、
深さ0～40km、 $M \geq 5.0$)



領域b内のM-T図

